

市議補選
4月20日
投票

「値上げ値上げでやりくりが限界」(対話アンケートから)

みなさんの切実な声に耳をかたむけて

即戦力で
市民のくらしを
全力で守ります

日本共産党 前 筑西市議会議員

石嶋 いわお

いしじま 巖

1954年、旧下館市大谷に生まれる。結城一高卒業。いばらきコープに就職。
現在、食味値80を目指し米づくり10年目。趣味、映画鑑賞、カヌー、山歩き。
前筑西市議会議員

あなたのつぶやきを聞かせてください

みんなの願いを大きなうねりにして
党派を超えて
くらし応援の政治へ

米をはじめ食料品、ガソリン、灯油、資材類も値上がり……。

「何とかならないのか」。

くらしの中で感じるあなたのモヤモヤ感やつぶやきは、みんなの
思いかもしれません。

市政でも国政でも生活者や仕事を支援する温かい政治が求められて
います。

日本共産党の議席の値打ち

金権政治と無縁の監視役

お金で動く政治とはキッパリ！腐れ縁がなく、
どんな権力にもハッキリものが言えます。

市民のくらしが一番

福祉・くらしを最優先に、市民の願い生きる市政
へ声を届けます。

一致点で共同

市民のためになることは立場を超えて力を合わせ実現をは
かります。



筑西市議会議員
三浦 ゆずる

議会で毎回質問
石嶋さんは、議会で毎回質問してきた即戦力のある人です。天性の気さくさは定評で、その上、生協勤務の経験から、くらしの悩みなどを、とことん掘り下げて聞き取ることが出来る人です。みなさんのご支援をよろしくおねがいします。

民報
ちくせい

2025年3・4月号外

発行／日本共産党筑西市委員会 筑西市玉戸31-1 電話 0296-25-6511

日本共産党の見解を紹介します。



いま、求められています **命・健康 子ども 食料**

物価高騰からくらしを守る

物価の高騰から収入は実質目減り。
国の財源と市の独自財源も使って、これまでに実施した水道料基本料の減免や、プレミアム券の全世帯への給付などでくらしの支援をおこないます。

オーガニック給食・地域経済循環

- ・ 学校給食の無償化を継続します。
- ・ オーガニック給食導入で地元の安全・安心な農産物をしっかり提供。
- ・ 有機食材を通じて子どもと大人の食育、環境保全を推進します。同時に、生産者の付加価値を高めた販路拡大、地域経済環境をいっそう推進します。

なんでも相談窓口・伴走型で支援

近年、相談の内容が複雑化しています。役所のタテ割では該当しないとたらい回しに。ワンストップの窓口にし、官民合同の様々な分野の連携の場（プラットフォーム）をつくり、伴走型で支援します。

「無料パス」で高齢者の交通支援

高齢者が免許返納後も通院、買い物、趣味、交流など気軽に外出できるよう、真岡市のように免許返納者に無料乗車券（バスとデマンドタクシー）の発行で応援します。



日本共産党が2議席になれば**議案提案権**が使えます

市民の要望を議員から議会に提出できる議案提案権は、2議席が必要です。日本共産党が2議席になれば、市民の願い実現に大きな力が発揮できます。

- 東海第2原発の再稼働に反対
- 企業・団体献金の全面禁止
- アメリカ言いなりの防衛費拡大ストップ